アンリツ計測器カストマサービス株式会社
サービスセンター

【光コネクタの接続の前に】

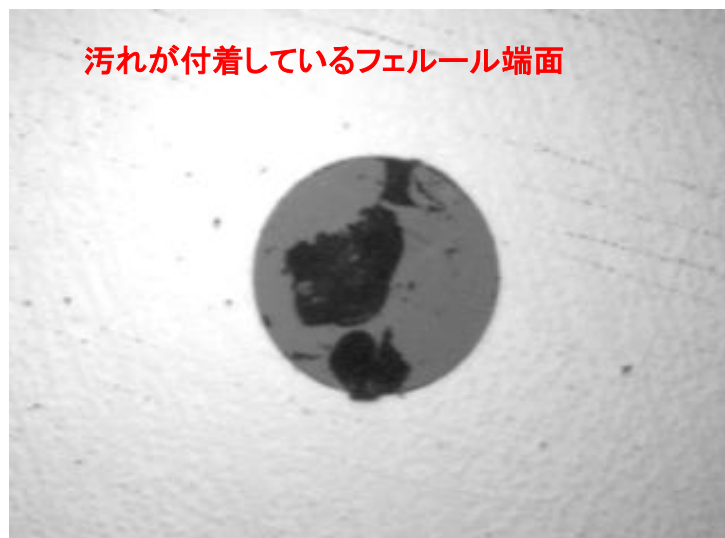
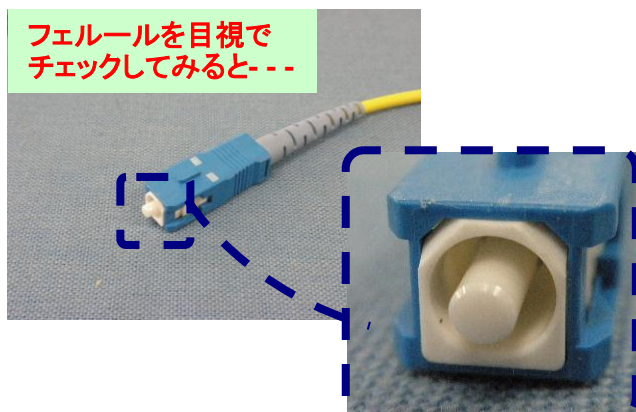
～電子計測器の保守サービス 20 年 田中のアドバイス(第 3 回)～

1. 光コネクタ端面

光ファイバケーブル端や計測器の光コネクタ(以下:フェルール)端面をご覧になったことはありますか？フェルール端面に、ほんのわずかな汚れが付着しているだけで、損失や反射が生じて正確な計測ができない場合があります。

フェルール端面を目視チェックしてみて一見綺麗に見えても、ファイバースコープ(;アンリツ品型名 OPT-545-VIP)で見てみると、思いの外、汚れが付着しています。校正や修理のためにお客様からお預かりした光計測器において、フェルール端面をファイバースコープでチェックしてみると、例えば下記の写真のように汚れが付着している場合があります。そこで、当社では、標準作業手順の中でファイバースコープを用いたフェルール端面の汚れチェックを明記して、全数チェック作業を行って万全を期しています。

＜光コネクタのフェルール端面をチェック＞

光コネクタ; 例 SC タイプ

2. フェルール端面のクリーニング

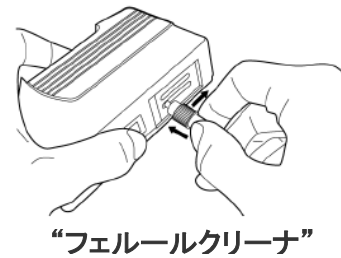
以下で紹介する“クリーニング関連製品”を使用して、定期的にクリーニングして下さい。

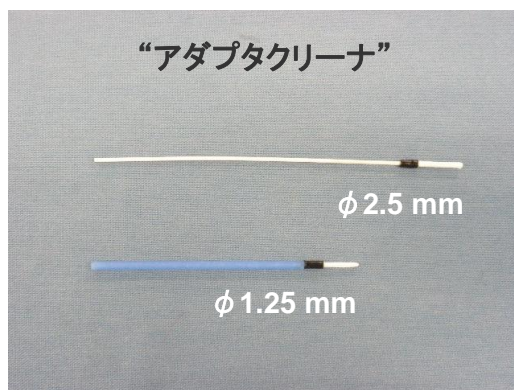
＜例　ネットワークマスタの取扱説明書より抜粋＞

測定器の光アダプタの場合

“アダプタクリーナ”

光コネクタの場合

“フェルールクリーナ”

※ フェルール端面を清掃・確認するときは、光が出射していないことを必ず確認して下さい。

もしクリーニングによりフェルール端面が綺麗にならない場合には、フェルール端面に傷が付いていたり、焼損している可能性があります。
このようなアンリツの光計測器に関わる光コネクタのトラブルの際には、お気軽に当社までご相談ください。

“アダプタクリーナ”には直径φが1.25mmと2.5mmの二種類があります。必ず、アダプタの内径にあったアダプタクリーナを選んでください。